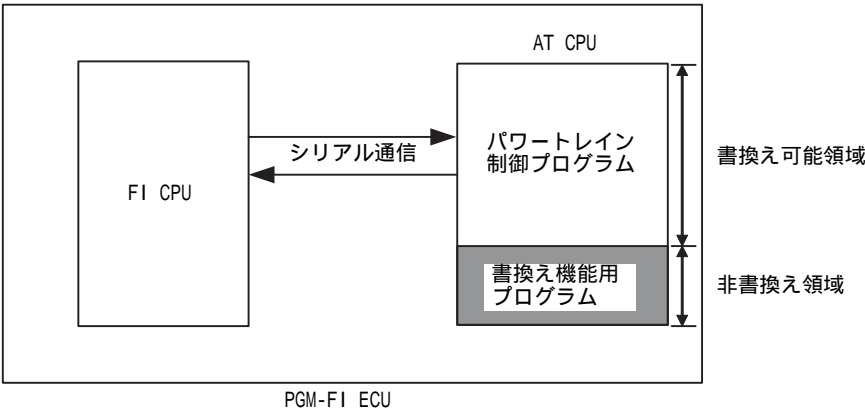


DTC 解説

DTC P16C0: AT コントロール ユニット制御プログラム未書込み (AT システム)

検知原理解説



01_P016C0G_TM8A00

PGM-FI ECU は制御プログラムの書換え機能を有し、市場にて制御プログラムの書換えを行う事が出来る。CPU に搭載されているプログラムは、パワートレイン制御プログラム（書換え可能プログラム）と書換え機能用プログラム（非書換えプログラム）の 2 つに分類され、プログラムのアップデート作業においてはパワートレイン制御プログラムのみを書換える。AT CPU を書換え処理中に PGM-FI ECU の電源を落とす等の不正処理にて、プログラムの書換え処理が正常に終了しない状況で、再度イグニッション スイッチが ON(II) にされた場合、AT CPU は書換え機能用プログラムにて起動され DTC をストアする。FI CPU はこの状態を監視して PGM-FI 警告灯を点灯する。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯、D 表示灯：消灯
OBD ステータス	設定なし

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
イグニッション スイッチ	ON(II)

故障判定基準

AT CPU を書換え処理中に PGM-FI ECU の電源を落とす等の不正処理にて、プログラムの書換え処理が正常に終了しない状況で、再度イグニッション スイッチが ON(II) にされた場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU(AT CPU プログラム) の書換え未完了
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC 解説

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、D 表示灯が点滅することなく、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。